

BEST AVAILABLE COPY

- 1 -

(11) Japanese Utility Model Registration No. 3054031

(24) Registration Date: September 2, 1998

(21) Application No. 10-3690

(22) Application Date: May 13, 1998

(72) Inventors: Kenji FUJIWARA

(71) Applicant: LAWSON Inc.

(74) Agent: Patent Attorney, Sumiko SIMOSAKA

(54) Title of the Device: GOODS PURCHASE SYSTEM

(57) [Abstract]

[Object] To provide a novel goods purchase system for easily reserve, purchase, or order goods that are difficult to be obtained by effectively utilizing a POS system, which is widely employed in, for example, convenience stores.

[Solving Means] When desired application information is input into an input unit, it is displayed on a display unit and is stored in a storage unit together with a predetermined application No. At the same time, an application ticket on which the application information or the like is written is also issued. When the application ticket is handed at a cash register, the application number barcode is read by an optical reader, and the fee corresponding to the application No. is read from the storage unit of an application terminal and is then settled.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

BEST AVAILABLE COPY

- 2 -

Then, a message indicating that the application data has been identified is sent to the application terminal, and a claim ticket is issued. The identified application data is sent to a center processing unit and is processed according to the application information.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号:

第3054031号

(45) 発行日 平成10年(1998)11月17日

(24) 登録日 平成10年(1998) 9月2日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

3 3 0

G 0 7 G 1/12

3 6 1

G 0 7 G 1/12

3 6 1 Z

1/14

1/14

評価書の請求 未請求 請求項の数5 F D (全 11 頁)

(21) 出願番号

実願平10-3690

(22) 出願日

平成10年(1998) 5月13日

(73) 実用新案権者 593147715

株式会社ローソン

大阪府吹田市豊津町9番1号

(72) 考案者 藤原 謙次

千葉県佐倉市宮ノ台五丁目12番1号

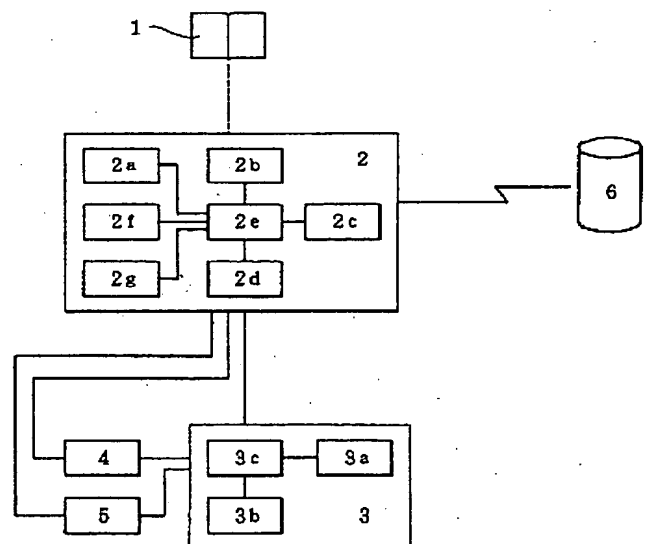
(74) 代理人 弁理士 下坂 スミ子

(54) 【考案の名称】 商品購入システム

(57) 【要約】

【課題】 面倒な商品の予約、購入または取寄せのための手続を簡便に行うことができ、かつ、近年広く展開されているコンビニエンスストア等で採用しているPOSシステムを有効に利用して、商品の予約、購入または取寄せを簡便に行うことができる新規な商品購入システムを提供する。

【解決手段】 入力装置に所望の申込内容を入力すると、表示装置に表示されると共に所定の申込番号を付されて記憶装置に記憶され、同時に、この申込内容に応じた内容を記載した申込券が発券される。申込券をレジに持参すると、光学的読取装置により申込番号バーコードを読み取り、申込用端末装置の記憶装置から申込番号の申込金額を呼び出して精算した後、申込用端末装置にその申込データが確定されたことを指示すると同時に、引換券を発券する。確定された申込データはセンター処理装置へ送られ、個々の申込内容に応じて処理される。



(2)

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 購入しようとする商品の商品コードおよび数量等の申込内容を入力するための入力装置と、入力装置に入力された申込内容を表示するための表示装置と、申込内容に応じて少なくとも申込日時、有効期限、商品コード、申込金額および申込番号バーコードが記載された申込券を発行するための申込券発券装置と、申込内容に対応した申込データを所定時間記憶するための記憶装置とを備えた申込用端末装置と、

申込券に記載された申込番号バーコードから申込番号を光学的に読み取り、申込用端末装置から申込番号に対応した申込金額を入手し、申込金額に対応した支払いが行われたことを確認した後、申込用端末装置の記憶装置に記憶された申込番号の申込データを確定して所定時間経過後も保持させるための精算用端末装置と、

精算用端末装置の記憶装置の確定された申込番号の申込データに対応した引換券を発券するための引換券発券装置と、

確定した申込番号の申込データを汎用または専用通信回線を介して受領し処理するためのセンター処理装置とから構成されることを特徴とする商品購入システム。

【請求項2】 購入可能な商品およびその商品コード等の商品情報を掲載した商品情報告知部材を更に含むことを特徴とする請求項1記載の商品購入システム。

【請求項3】 前記申込用端末装置はカードで決裁を行うためのカード読取装置を更に備え、そして、前記申込用端末装置の記憶装置に記憶された申込番号の申込データはカード決裁されたときに確定されて所定時間経過後も保持されることを特徴とする請求項1または2記載の

2

商品購入システム。

【請求項4】 ソフト書換装置を更に含み、前記申込用端末装置は記憶媒体確認装置を更に備えていることを特徴とする請求項1、2または3記載の商品購入システム。

【請求項5】 前記申込用端末装置の記憶装置は、申込用端末装置の入力装置に入力された申込内容のうちの顧客固有のデータをカード読取装置に挿入された番号カード毎に記憶し、それにより、次の申込み時からは番号カードをカード読取装置に番号カードを挿入することによりそれに対応した顧客固有のデータを呼び出すことができることを特徴とする請求項1～4のいずれか一項に記載の商品購入システム。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の実施例による商品購入システムを模式的に示す図である。

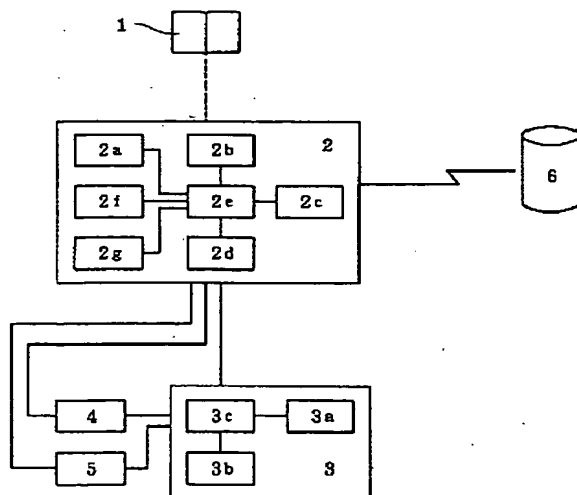
【図2】 図1に示す商品購入システムで用いられる申込券の一例を示す図である。

【図3】 図1に示す商品購入システムで用いられる引換券の一例を示す図である。

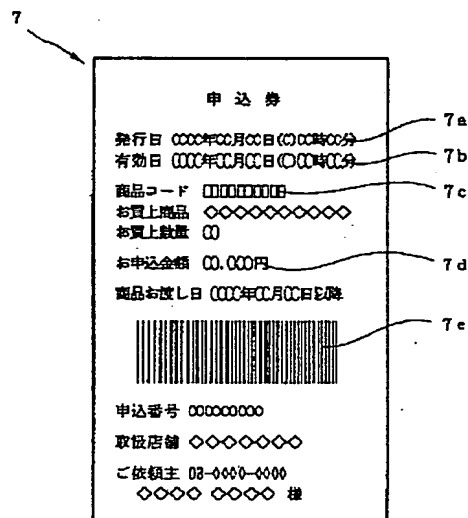
【符号の説明】

- 1 商品情報告知部材
- 2 申込用端末装置
- 3 精算用端末装置
- 4 引換券発券装置
- 5 ソフト書換装置
- 6 センター処理装置
- 7 申込券
- 8 引換券

【図1】



【図2】



(3)

【図 3】

Figure 1 is a schematic diagram of a mail envelope 8. The envelope is labeled "引換券" (Exchange Coupon). It contains the following fields:

- お承り日 (Received Date): 0000年00月00日(○) (C)
- お渡し日 (Delivered Date): 0000年00月00日(○)以降
- お申込商品 (Applied Item): 商品コード (C) 000000
- 領収金額 (Receipt Amount): 00,000円
- 数量 (Quantity): 0
- お取扱店舗 (Handling Store): 00000000

The diagram includes labels 8a, 8b, 8c, 8d, and 8e pointing to various parts of the envelope and its contents:

- 8a: Points to the "引換券" label.
- 8b: Points to the "お承り日" field.
- 8c: Points to the "領収金額" field.
- 8d: Points to the "数量" field.
- 8e: Points to the "お取扱店舗" field.

(4)

【考案の詳細な説明】**【0001】****【考案の属する技術分野】**

本考案は、商品の予約、購入または取寄せを行うための新規な商品購入システムに関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

店頭に常置されていない商品を取り寄せる場合、その商品の販売者を捜して直接申し込むか、その商品に関連した商店にその商品の取寄せを依頼しなければならず、不便の一語に尽きるものであった。一方、コンサート、映画、スポーツ、旅行等の各種イベントや数量限定品等の商品の予約を行う場合、まず、その予約の受付が行われていることを知ること自体が難しく、また、プレイガイドの普及により電話による予約が可能となっているが、最終的に、主催者やその取扱い所へ出かけてチケットを購入しなければならず面倒なものであった。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

本考案は、このような面倒な商品の予約、購入または取寄せのための手続を簡便に行うことができ、かつ、近年広く展開されているコンビニエンスストア等で採用しているPOSシステム、すなわち、商品の仕入れ販売等を一元的に管理し運営するためのコンピュータネットを有効に利用して、商品の予約、購入または取寄せを簡便に行うことができる新規な商品購入システムを提供しようとするものである。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

本考案による商品購入システムは、購入しようとする商品の商品コードおよび数量等の申込内容を入力するための入力装置と、入力装置に入力された申込内容を表示するための表示装置と、申込内容に応じて少なくとも申込日時、有効期限、商品コード、申込金額および申込番号バーコードが記載された申込券を発行するための申込券発券装置と、申込内容に対応した申込データを所定時間記憶する

(5)

ための記憶装置とを備えた申込用端末装置と、申込券に記載された申込番号バーコードから申込番号を光学的に読み取り、申込用端末装置から申込番号に対応した申込金額を入手し、申込金額に対応した支払いが行われたことを確認した後、申込用端末装置の記憶装置に記憶された申込番号の申込データを確定して所定時間経過後も保持させるための精算用端末装置と、精算用端末装置の記憶装置の確定された申込番号の申込データに対応した引換券を発券するための引換券発券装置と、確定した申込番号の申込データを汎用または専用通信回線を介して受領し処理するためのセンター処理装置とから構成される。

【0005】

顧客が入力装置に所望の申込内容を入力すると、この申込内容は表示装置に表示されて顧客の確認作業に供されると共に、所定の申込番号を付されて記憶装置に記憶される。これと同時に、この申込内容に応じた内容が記載された申込券が申込券発券装置から発券される。

【0006】

顧客がこの発券された申込券をレジに持参すると、店員は光学的読取装置を申込券に記載された申込番号バーコードに当てて読み取らせ、その申込番号を精算用端末装置に入力する。精算用端末装置は読み取った申込番号の申込金額を申込用端末装置の記憶装置から読み取って精算し、支払いが済んだ後、申込用端末装置の記憶装置に当該申込番号の申込データが確定されたことを指示する。それと同時に、申込用端末装置の記憶装置に記憶された当該申込番号の申込データに対応した引換券を引換券発券装置から発券し、それを顧客へ手渡す。確定された申込番号の申込データはオンラインでまたはその他の確定された申込データと共に一括してセンター処理装置へ送られ、個々の申込内容に応じて処理される。

【0007】

本考案による商品購入システムはまた、購入可能な商品およびその商品コード等の商品情報を掲載した商品情報告知部材を更に含むこともでき、これにより、顧客は購入可能な商品に関する情報を前もって知ることができるだけでなく、顧客が引換券発券装置を占有する時間を短縮させることができる。

【0008】

(6)

また、本考案による商品購入システムは、申込用端末装置にカードで決裁を行うためのカード読取装置を更に備え、そして、カード決裁されたときに申込用端末装置の記憶装置に記憶された申込番号の申込データを確定して所定時間経過後も保持するように構成することもでき、これにより、現金だけでなく、カードを用いた決裁も行うことができる。

【0009】

更に、本考案による商品購入システムは、ソフト書換装置を更に含み、申込用端末装置に記憶媒体確認装置を更に備えることもできる。これにより、レコード店やオモチャ屋やデパートのオモチャ売場等のような特定の場所に行くことなく、近所のコンビニエンスストア等で手軽に音楽ソフトやゲームソフト等の書換えを行うことができる。更にまた、本考案による商品購入システムは、申込用端末装置の入力装置に入力された申込内容のうちの顧客固有のデータをカード読取装置に挿入された番号カード毎に申込用端末装置の記憶装置に記憶させることもでき、それにより、次の申込み時からは番号カードをカード読取装置に番号カードを挿入することによりそれに対応した顧客固有のデータを呼び出して、顧客の入力操作の簡略化を企図することができる。

【0010】

【考案の実施の形態】

本考案の実施例による商品購入システムは、図1に示すように、顧客が希望商品を選択するための商品情報告知部材1と、顧客が操作して希望商品の申込みを行うための申込用端末装置2と、申込内容に応じた金額を決裁するための精算用端末装置3と、決裁された申込内容に応じた引換券を発券するための引換券発券装置4と、記憶媒体中の音楽ソフトやゲームソフト等の書換えを行うためのソフト書換装置5と、決裁された申込内容に応じた処理を行うためのセンター処理装置6とから構成される。

【0011】

商品情報告知部材1は、購入可能な商品、その商品コードおよびその商品に関する説明等、種々の商品情報を掲載している。商品情報告知部材1は、顧客が購入可能な商品に関する情報を前もって調べるのに供され、通常、申込用端末装置

(7)

2の近傍またはその他の適当な場所に置かれた商品情報カタログが用いられる。この外、商品情報告知部材1としては、有料の情報誌、新聞や雑誌等の一般誌、テレビやラジオ等の情報媒体、インターネットのホームページ、店頭や店内に設置されたプラズマディスプレイやグラスビジョン等のディスプレイ装置等を採用することができる。

【0012】

申込用端末装置2は、購入しようとする商品の商品コードおよび数量等の申込内容を入力するための入力装置2aと、入力装置に入力された申込内容を表示するための表示装置2bと、申込内容に応じて少なくとも申込日時、有効期限、商品コード、申込金額および申込番号バーコードが記載された申込券を発行するための申込券発券装置2cと、申込内容に対応した申込データを所定時間記憶するための記憶装置2dと、これらの装置を制御するための制御装置2eとから構成される。好ましくは、申込用端末装置2は、音楽ソフトやゲームソフト等のための記憶媒体の記憶容量等を確認するための記憶媒体確認装置2fとカードで決裁を行うためのカード読取装置2gとを更に備えている。

【0013】

精算用端末装置3は、コンビニエンスストア等で採用されているPOSシステムの端末装置を兼用でき、バーコード読取装置3aと、キャッシャ3bと、申込用端末装置2およびホストコンピュータ（図示なし）との接続および制御を行うための通信制御装置3cとから構成される。

【0014】

引換券発券装置4は慣用のプリンタを使用でき、センター処理装置6はPOSシステムのホストコンピュータを兼用することもできる。申込用端末装置2は、有線、無線、衛星回線等の回線を介してセンター処理装置6にオンラインで接続して商品情報等の種々の情報を常時配信または随時更新されるか、または、種々の更新情報を記録した記憶媒体を用いて逐次更新される。

【0015】

上述の如く構成される本考案の商品購入システムは、大別して、商品取寄せや予約を要する商品の申込みと、各種イベントのチケットや旅行等の購入または申

(8)

込みと、音楽ソフトやゲームソフト等の書換え、の3つの商品購入形態で使用され、支払い方法は、現金払いとカード決裁の2種類を利用することができる。

【0016】

商品取寄せや予約を要する商品の申込みを行う場合、顧客は、まず、商品情報告知部材1の中から希望の商品を選び出す。次いで、近くの申込用端末装置2が設置されているコンビニエンスストア等に出かけ、表示装置2bで確認しながら入力装置2aに所望の商品の商品コードや数量等の申込内容を入力する。申込内容が入力されると、所定の申込番号を付されて記憶装置2dに記憶されると同時に、図2に示すように、申込内容に応じた内容を記載した申込券7が申込券発券装置2cにより発券される。ここにおいて、その支払いをクレジットカードで行う場合、申込券7は、顧客がカード読取装置2gにクレジットカードを挿入してカード決裁の手続を完了した後に発券される。

【0017】

申込券7の寸法形状および各項目の表記については必ずしも図示のものに限定されるものではないが、顧客自身が申込内容を確認できると共に、後述する作業をより簡便に行うために、申込券7に少なくとも申込日時7a、有効期限7b、商品コード7c、申込金額7dおよび申込番号バーコード7eが記載されているのが好ましい。

【0018】

申込券7が発券されると、顧客はそれを持ってレジへ行き、店員に申込券7を渡す。店員は申込券7に記載された申込番号バーコード7eをバーコード読取装置3aによって読み取らせ、その申込番号を精算用端末装置3に入力する。精算用端末装置3は申込用端末装置2の記憶装置2dからその申込番号の申込データと呼び出し、現金支払いが選択されているとき、その申込金額を読み取り、受領すべき金額を表示する。支払いが済んだときまたは既にカード決裁が済んでいるとき、精算用端末装置3は申込用端末装置2の制御装置2eを介して記憶装置2dにその申込番号の申込みが確定されたことを指示してその申込データを保持させると共に、図3に例示するように、その申込内容に対応した引換券8を引換券発券装置4で発券させる。この発券された引換券8を顧客に渡すことにより商品

(9)

購入のための申込手續が完了する。

【0019】

ここにおいて、引換券8の寸法形状および各項目の表記もまた図示の形態に限定されるものではなく、また、その記載内容についても申込内容に対応して適宜に変更されるものである。図示の場合、引換券8は顧客が再度来店して商品を引き取る場合の例であり、そこには受付日8a、引渡し予定日8b、申込商品名8c、数量8d、領収金額8e等が記載されている。図示されていないが、宅配等によって商品を顧客に配達する場合、引渡し予定日の代わりに配達予定日が引換券8に記載される。

【0020】

確定された申込番号の申込データは、オンラインで、またはその他の確定した申込データと共に一括してセンター処理装置6に送られ、各申込内容に対応した処理、例えば、取扱先への商品の発注や予約等が行われる。一方、所定時間経過後も未確定のまゝの申込データは申込用端末装置2の記憶装置2dから消去される。

【0021】

各種イベントのチケットや旅行等の購入または申込みを行う場合、基本的に、前述と同様にして行われるが、各商品によって多少の変更がある。例えば、コンサートチケット等のように購入前の予約を必要とする商品の場合、場合によっては申込用端末装置2を操作する前に商品情報告知部材1等を参照してプレイガイド等から予約番号を得る必要がある点、そして、引換券発券装置4から発券されるものは正規のチケット等である点が前述の商品購入の場合と異なっている。また、旅行契約書や乗車券や搭乗券等のように法律によって正規のチケット等の販売が制限されている商品の場合、引換券発券装置4から発券されるものが正規のチケット等と引き換えるための確認書である点が前述の商品購入の場合と異なっている。

【0022】

音楽ソフトやゲームソフト等の書換えを行う場合、持参した音楽ソフトやゲームソフト等のための記憶媒体（図示なし）を申込用端末装置2の記憶媒体確認装

(10)

置2 fに入れて入力装置2 aに所望のソフトの商品コードを入力すると、記憶媒体確認装置2 fが記憶媒体の空き容量を調べる。空き容量が不足する場合、不要なソフトを消去して所望のソフトのための空き容量を確保する。十分な空き容量が確保されていることが確認されると、申込券発券装置2 cが申込券7を発券する。顧客はこの申込券7を持ってレジへ行き、記憶媒体と共に店員に手渡して支払いを行う。店員は客が持参した記憶媒体をソフト書換装置5に入れると共に、申込券7の申込番号バーコード7 eをバーコード読取装置3 aによって読み取らせ、その申込番号を精算用端末装置3に入力させると、申込用端末装置2からの指令により、ソフト書換装置5が記憶媒体をその申込番号に対応した音楽ソフトやゲームソフト等の内容に書き換える。

【0023】

冗長を避けるために個々のケースについての詳細は割愛するが、本商品購入システムは、上述した商品以外に、現金を商品とするキャッシングや、花束等の贈物を行うための宅配ギフトや、衛星放送や電話等への加入申込みや、懸賞等への応募、地図や写真や記事等の発行、希望する商品についてのカタログ等の発行等もまた行うことができ、顧客の広汎なニーズに対応したサービスを行うことが可能となる。加えて、年中無休、24時間営業のコンビニエンスストアに設置できるため、顧客の都合の良いときに商品の引き取りを行うことができることは容易に理解されよう。

【0024】

また、申込用端末装置2は有線、無線、衛星回線等の回線を介してセンター処理装置6にオンラインで接続されるのが好ましく、これにより、申込用端末装置2に記憶された商品情報等の内容を常時配信または随時更新できると共に、申込用端末装置2の表示装置2 bを広告用表示装置としても活用できる。

【0025】

更に、申込用端末装置2の記憶装置2 dは、顧客固有のデータ、例えば、顧客の氏名、住所、電話番号等、を各顧客毎に記録させることもできる。この顧客固有のデータの記憶は、レジで受領した番号カード(図示なし)を申込用端末装置2のカード読取装置2 gに挿入し、入力装置2 aに顧客固有のデータを含む申込

(11)

内容を入力すると、顧客固有のデータのみが番号カードに記憶された番号に対応した番地に記録されることにより行われる。これにより、顧客は、次回の利用時から、この番号カードをカード読取装置 2 g に挿入して読み取らせることにより、顧客固有のデータが記憶装置 2 d から呼び出されて入力装置 2 a に入力されるため、申込操作の簡略化を図ることができると共に、本商品購入システムの利用効率を高めることができる。

THIS PAGE BLANK (USPTO)